



◆2026年度(第19期)代議員選挙のお知らせ

本協会の代議員の任期は、選任から2年後に実施される代議員選挙の終了までと定められております。
そのため、代議員選出規程に基づき、下記の通り代議員選挙を実施いたしますので、ご案内申し上げます。

代議員選挙の日程	内容
2026年1月8日(木)	選挙の公示
2026年1月29日(木)～2月26日(木)	立候補届出・受付開始
2026年3月5日(木)	選挙人名簿および立候補名簿公開
2026年3月6日(金)～4月9日(木)	投票(立候補者が定数を超えない場合は無投票当選)
2026年4月23日(木)	選挙結果公開

1. 選挙区と代議員定数(代議員選出規程第3条)

選挙区: 連携団体会員選挙区 および 本部会員選挙区

定数: 連携団体会員選挙区ごとの代議員定数は、1月1日時点で確認できた当該連携団体の有効正会員数により理事会において定める。本部会員選挙区の代議員定数は、上限を40人とし、その定数は理事会において定める。

2. 任期(代議員選出規程第4条)

選任の2年後に実施される代議員選挙終了の時までとする。

3. 選挙人の資格(代議員選出規程第6条)

2026年1月1日現在の正会員および関連事業者会員で会費納入済みの者とする。

4. 被選挙人の資格(代議員選出規程第7条)

2026年1月1日現在において、正会員および関連事業者会員として入会確認をされたものでなければならない。

5. 代議員の選出手続き(代議員選出規程第15条)

代議員に立候補しようとする者は、受付期間内に、選挙管理委員会が定める書類を委員会に提出しなければならない。
代議員立候補者が、定数を超えない場合には、その代議員立候補者は、投票を行わずに無投票当選とする。

◆委員会報告

既存改修委員会 8月5日(火)・6日(水) 場所 北海道札幌市など 参加者 9名

北海道視察レポート【第2号】8/6 岩見沢・三笠・当別・栗山・長沼・厚真 / 武部建設

視察2日目の8月6日(水)は、札幌駅前を早朝に出発し、武部建設株式会社の代表取締役 武部豊樹様のご案内で、岩見沢・三笠・当別・栗山・長沼・厚真エリアの多数のプロジェクトを巡りました。廃校・倉庫・古民家・社有林といった地域資源を、蒸溜所・ワイナリー・教会・レストラン・宿泊施設へと再編集する取り組みを、設計・施工・運営の連続性という観点から学ぶ一日となりました。

まず当別町では、旧弁華別小学校をクラフトウイスキーの蒸留所に転用する現場を見学。築88年の木造校舎に求められる厳格な温湿度管理へ対応するため、高断熱・高気密の実装や木構造の「見せ方」を工夫している点が共有されました。入札経緯や概算工事費、施工者選定の背景など、工務店ならではの機動力が生きる領域(おおむね1〜3億円規模)であることも印象的でした。

続いて岩見沢事務所では、既存倉庫の改修から生まれた「結ホール」と宿泊体験モデルハウスを視察。間伐材を型枠としても外装としても活用する素材循環の工夫、着色モルタルの使い方など、地域性と意匠性を両立する実践に学びました。さらに、三笠事務所ではJAS認定工場と17名の社員大工を擁する体制に触れ、設計・製材・施工の一体運用が高品質と多様な受注を支えることを確認しました。

宝水ワイナリー(小樽の造船所を移築再生)、栗沢教会(社有林材の丸太を活用)、サメオトレストラン(古材+社有林活用の創作料理店)、長沼マオイワイナリー(傾斜地の木造+RC造の混構造、逆トラスの天井意匠)、北海道スペースワイナリー(醸造設備を共同利用する“シェア”モデル)と、各所で地域資源×木造再生×事業化の思想が一貫していました。

新規参入の設備投資負担を下げる仕組みや、相互送客を生む施設配置の妙も、地域経済に波及効果をもたらす重要な視点です。

終盤に訪れた厚真町では、古民家再生ホテル「みつ」をはじめとする一連の官民連携プロジェクトを見学。Design-Build-Operateへと発展させた3棟目の取り組みでは、運営者出資や工期調整、基礎断熱に起因する音の回り込みといった実務課題が率直に共有され、「造って終わりにしない」姿勢が、地域に根差す持続可能なモデルづくりに不可欠であることを実感しました。

参加者からは、「大工技術と素材の理解が、用途転用を可能にしている」「社有林・古材・既存建築の価値を編集し、“運営”まで踏み込むことで事業が面となって広がる」との感想が多く寄せられました。委員会としては、本視察で得られた知見を、官民連携スキームの参考様式、DBO型の運用設計、音環境・温湿度管理などの実務ノウハウとして整理し、全国の会員工務店へ共有してまいります。

地域の資源に新たな命を吹き込むのは“建築の力”であり、“関係づくりの力”でもある一。そのことをあらためて示してください。武部建設の皆様には、深く感謝申し上げます。



◆「同時に行う省エネリフォーム+耐震リフォーム」講習会開催のご案内

省エネと耐震を“同時”に計画・施工することで、工期短縮、コスト最適化、不具合リスクの低減を実現する。本講習会では、そのための実務ノウハウを、調査・設計・施工・検査の一連のプロセスとして体系的に解説します。

個別最適の寄せ集めになりがちな改修を、住まい全体の性能向上という視点で再構成し、限られた予算と工期の中で最大の効果を引き出す考え方を提示。特に断熱改修と耐震補強が干渉しやすい外皮・開口部・小屋裏・床周り・間仕切りなどの部分に焦点を当て、納まり・気密・防露の整合、補強位置の取り合い、施工順序の最適化といった、現場で迷いがちな論点を“できる手順”として紹介します。

開催期間【全11会場】

2025年11月7日(金)〜2026年1月26日(月)

○どの会場でも申込み可能 ○複数回・複数会場の受講もOK
○各会場オンライン配信もあります



詳しくは
こちら

●主な内容

インスペクションの重要性と手順

事前準備 / 現地調査のチェックポイント

省エネリフォーム計画

断熱仕様の選定・住まい方の留意点・設備選定

耐震リフォーム計画

診断の進め方・補強計画・干渉部の処理

施工の要点

基礎 / 外壁 / 屋根 / 天井 / 間仕切り等の同時改修の組合せ

事例紹介と質疑応答

※令和7年施行の改正建築物省エネ法の概要にも触れます。

工務店紹介

Introduction of construction companies

石川県かほく市にある1883年創業の沢野建設工房は、140年以上の歴史を持つ老舗工務店です。新築の年間受注数は10棟程度。地元産のスギやヒノキなどを丸太から製材し、墨付け・手刻みで加工する、木の良さを最大限に生かした住宅に定評があります。

新建材に頼らず、天然乾燥の無垢材をふんだんに用いた同社の住宅には、木の香りに包まれた心地よい空間が広がります。家づくりにおける重要なキーワードは「健康」です。

「性能やデザインでビルダーを選ぶことはあっても、住宅に“健康”を求める人は多くありません。しかし、自然素材に囲まれるからこそ得られる安心感や空気の質の良さは、自然とともに生き

大工仕事と天然無垢材が叶える「健康」にフォーカスした家づくり

株式会社 沢野建設工房

澤野 幸樹 社長



てきた人間が本来一番求めるものだと思います」と話すのは、5代目社長の澤野さん。年内には、同社の家づくりを紹介する書籍を自費出版予定で、「“健康住宅”という価値観を広めることが今後の目標」と力を込めます。

また、同社では設計から施工に至る全てを27名の従業員で内製化。特に社員大工は13名が在籍し、質の高い住宅を支えています。伝統の手刻み技術を継承することを重視し、若手の定着にも成功していますが、「育成のための特効薬はない」と澤野さん。

「職業としての大工に憧れて入ってきた人はなかなか続きませんが、“木が好き”“ものづくりが好き”という人の方が残ってくれます。木へのこだわりを楽しむこ

とができ、手仕事に没頭できる環境があることが大事」と言い、時代に左右されない姿勢が人材確保にも奏功していることがうかがえます。

「地元材の活用は森林整備に貢献し、無垢材の仕様は炭素貯蔵ができ、伝統技術も継承できる。工務店の仕事は社会課題の解決につながっている」と意欲的に語る澤野さん。昨年の能登半島地震の際は木造応急仮設住宅の建設にも尽力。地域の人々の暮らしを支えながら、木とともに生きる豊かさを次世代へつないでいきます。

▶ 同社の施工例。家具や建具も自社で制作したもので、家具ブランドも展開している。



無料参加型のWEB展示場を運営 価格・仕様の明示で業界変革を

株式会社 スパーク

中村 和生 社長



関連事業者紹介

Introduction of related businesses

株式会社スパークは、2018年に設立されたWEBマーケティング会社です。代表の中村さんは、前職のプレカット会社で15年間営業に従事し、足で稼ぐ営業から脱却するマーケティング主導の集客手法を確立。売上を約4億円まで伸ばした実績を持ちます。

独立のきっかけとなったのは、親交の深かった工務店経営者からの「工務店が本当に求めているのは、材木ではなく集客だ」という言葉。「マーケティングの知見を生かして集客の仕組みを提供できれば、これまでお世話になった皆さんに恩返しができる」という思いから、工務店の集客支援に特化した事業を立ち上げました。

前職では工務店団体の事務局長も

務め、独立後はWEBサイト制作やSEO対策支援などで業界との関係を深めてきた中村さん。現在特に注目を集めている取り組みが、無料参加型プラットフォーム「住宅展示場ネット」の運営です。

現在約290社が参加するこのプラットフォームでは、企業が施工した住宅のCGを無償で公開する一方、CG制作やSEO対策などの有料サービスを提供して事業を収益化。掲載の条件として、価格・仕様の公開を必須にしています。

中村さんは「商品を陳列し、値段を示してそれぞれの違いを明確にすることは、マーケティングの原理原則です。施主が一番知りたいのは、『この家は結局いくらなのか』ということ」と言い、事業者本位ではなく、施主本位の情報

提供の重要性を訴えます。

人口減少が加速するなか、中村さんが掲げるのは“競争社会から共助の仕組みへ”という理念。「“自分の会社だけが良ければいい”という考えは、結果的に業界の未来を狭めてしまう。住宅の価格や仕様を明示することがスタンダードになれば、中小工務店が選ばれる業界構造が実現できる」と力強く話します。

1社1社は小さくとも、結集することによって大きな力となる——JBNの理念にも通じる中村さんの取り組みが、業界発展の一助となることが期待されます。

▶ 住宅展示場ネットで公開されているVRモデルハウス。



◆ 訃報

当協会 理事 壇 洋一（だん よういち）様におかれましては、令和7年11月1日にご逝去されました（享年71歳）。

壇様は2020年度より理事に就任され、協会活動の発展に多大なご尽力を賜りました。

ここに生前のご功績を偲び、深く感謝の意を表するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



◆ 建築確認申請図書作成支援サービス

AIが建築確認申請図書の作成をサポート

本サービスは、建築確認申請図書において記載が必要な事項のうち主要な事項について、申請予定図書等における記載の有無をAIが評価するものです。

本サービスの利用によって、申請予定者が確認申請の前に申請予定図書が適切に作成されているかの自己チェックが可能となり、申請図書の不備を削減し、建築確認審査の円滑化を図ります。

● 建築確認申請図書作成支援サービスの概要

実施者

一般財団法人 日本建築防災協会

内容

AIを活用して、2階建て木造一戸建て住宅等の建築物の新築に係る建築確認申請図書に必要な記載事項の一部の有無を評価するもの。なお、建築基準法令・関係法令への適合性を審査するものではありません。

利用料

無料（1アカウントにつき直近24時間で上限5回の回数制限あり）

提供期間

令和7年11月10日(月)～令和8年3月9日(月) まで※予定

詳細等は、下記の国土交通省ホームページをご確認ください。

国土交通省 報道発表ページ
(2025年11月10日)



報道発表資料
(PDF)



◆ 大工育成委員会の視察研修報告

東京大工塾のしくみと大工育成について学ぶ！ 工務店視察研修in岡庭建設&ハウステックス

11月7日・8日の両日にわたり、東京大工塾の協力をいただき、北海道から九州の会員が80名以上参加し、大工育成委員会の視察研修が開催されました。

岡庭建設視察では、「ゼロエミガルテン・ヤギサワ」現場にて、「大工マイスター制度」の話をさせていただきました。社員大工にこれから取り組む会社、すでに取り組んでいる会社など、多くの参加者から質疑が上がりました。



岡庭建設現場視察

また、ハウステックス視察では、ショールームをはじめ各フロアや地下の「くらもとファクトリー」などを社長、スタッフの皆様にご案内いただき、社内での取り組みや職人育成の環境づくりについてご紹介いただきました。実際の建築現場での工夫や大工との連携方法などについても多くの質問が寄せられ、参加者の熱意が感じられました。



ハウステックス視察

7日の後半の部では、東京大工塾の大工評価基準・育成プログラムの話や大工さんたちに、「なぜ大工になったのか」など、日頃聞けないことを直接聞くことができ、とても良い交流になりました。



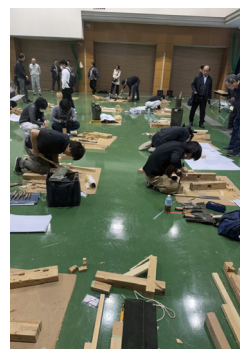
大工さんに質問

夜の懇親会では、120名の懇親会を開催し、各社の取り組みについて、活発な意見交換がされました。



会場風景

2日目は、東京建築高等職業訓練校府中校を訪問し、実習棟や実技の様子を見学し、1年生は「四方転び」、2年生は「振れ隅」の実習の取り組みを視察しました。2日間の視察を経て、参加者の方々には、多くの学びある視察研修になったと思います。



大工育成委員会では、これから社員大工化を図りたい方、社員大工化を図っている方、どなたでも参加可能です。ぜひ委員会にご参加ください。

JBNはさまざまなご相談（技術、法律、支援等）をお受けしております。

ホームページ（トップページの最下欄）のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階

Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:https://www.jbn-support.jp